

清掃作業
マニュアル
エスプレッソグラインダー
《KE-640編》



安全上の注意

使用を開始する前に、この「安全上の注意」をよく確認すること。
ここに記載してある注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ること。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容

電源は、専用コンセントを使用すること
(延長コード等は絶対に使用しない)

電源コードを傷つけたり、汚さないこと
(加工したり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚したりしない・感電、火災の原因となる)

濡れた手で電源プラグなど、電気部品に触れたりスイッチを操作しないこと
(感電の原因となる)

電源プラグにほこりが付着していないか確認し、確実に根元まで差し込んで使用すること
(ショート、感電、故障の原因となる)

本体に直接水をかけないこと
(ショート、感電、錆び、故障の原因となる)

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと
(感電、ヤケドの原因となる)

漏電遮断機が作動しOFFになった場合は、無理やり電源を入れず、すぐにSV/DMGへ連絡すること
(無理に電源を入れると、感電や火災の原因となる)

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして、電源プラグを抜き、すぐにSV/DMGへ連絡すること
(異常のまま運転を続けると、感電、火災の原因となる)

本マニュアルに記載されている以外の分解、修理は絶対に行わないこと
(異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因となる)

分解を伴うメンテナンスを行う場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと
(電源プラグを抜かない場合、ケガややけどの原因となる)

改造は絶対に行わないこと
(感電、火災の原因となる)

勝手に移動を行わないこと
(備え付けに不備があると転倒、落下によるケガの原因となる)



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的破損の発生がある内容


製品の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと
(落下しケガをしたり、こぼれた水で故障の原因となる)


洗浄の際は指示通りの方法で行い、食器洗浄機は使用しないこと
(洗浄機の中でパーツが破損、紛失することがある)

分解を伴うメンテナンスを行う場合は、必ず軍手を着用すること
(軍手を着用しない場合、ケガややけどの原因となる)

■ エスプレッソミルの操作 - DITTING KE-640



 エスプレッソミル (ディッピング KE-640)	作業内容	メッシュ/粉量の調整	カテゴリ	メンテナンス
	作業目的	メッシュ(粉の粒度)の調整と ドージング量(粉の量)の調整方法です。 エスプレッソの調子は毎日変化します。 必ず毎日調整を行いましょう。	備考	

必要資材	スケール(はかり)						
	 W91416 デジタルキッチンスケール						

■メッシュ(粉の粒度)の調整【デイリー実施】



- 1, 調整ツマミを左に回し緩める
- 2, 調整レバーを左右に動かす
- 3, 調整ツマミを右に回し固定する
- 4, メッシュ変更後、エスプレッソの抽出を行い挽き目を確認する



- エスプレッソの抽出が早い場合
⇒メッシュを細かくする(粉を細かくする)
レバーを右にし、数字を0.5小さくする
- エスプレッソの抽出が遅い場合
⇒メッシュを粗くする(粉を粗くする)
レバーを左にし、数字を0.5大きくする

必ず、0.5目盛りずつ動かすこと。
0.5以上動かすと、メッシュが一気に変わり、抽出が不安定になります。

■ドージング量(粉の量)の調整【デイリー実施】



- 1, 左右のボタンを同時に長押しし、MENUモードに入る
- 2, シングルはSTI表示にし、左のダイヤルで秒数を調整する
- 3, ダブルはDTI表示にし、右のダイヤルで秒数を調整する
- 4, 左右のボタンを同時に長押しし、SAVEする



STIにし、左側のダイヤルで秒数を変更する


DTIにし、右側のダイヤルで秒数を変更する


- ドージング量が少ない場合
⇒挽いている時間を長くする
秒数を増やす(0.2秒増やすと約1g増えます)
- ドージング量が多い場合
⇒挽いている時間を短くする
秒数を減らす(0.2秒減らすと約1g減ります)

・粉量を多くする場合は、秒数を増やす
・粉量を少なくする場合は、秒数を減らす


STI : Single Time Interval / DTI : Double Time Interval

秒数を変更した場合は、必ず数回スケールで粉量を計量すること。
・シングルスパウト使用時 / 1ドージング:8グラム
・ダブルスパウト使用時 / 1ドージング:7グラム

	作業内容	専用タブレット清掃	カテゴリ	ウィークリー・メンテナンス
	作業目的	エスプレッソミル「ディットティングKE-640」の清掃タブレット「グラインツ」を使用したディスク清掃方法です。 分解洗浄が不要となります。	備考	■タブレット「グラインツ」特徴 ・天然素材を原料とし、口に入れても安全 ・グラインダーの刃と容器を洗浄 ・ニオイと油をほぼ完全に除去 ・アレルギーは含まれません
ディットティング/KE-640				

必要資材	洗浄タブレット							
								
	グラインツグラインダークリーナー480g							

①ホッパーを空にする




安全の確保のため、電源を切る。
ホッパーをスライドを開けて本体から外し別容器に豆を移す。本体に残ったビーンズは、ロングスプーン等を使用し、できる限り取り除く。

②ホッパーをとりつける




ホッパー取り付け、電源を入れる。

③残ったビーンズを挽ききる




グラインダーのメッシュを「10番」(最も粗挽き)にし本体に残っているビーンズを挽ききる。

④「グラインツ」を規定量入れる




専用タブレット「グラインツ」をフタに一杯程度(35-40g)計量しホッパー内に投入する。

⑤メッシュを10番にし、挽ききる



10番のメッシュのまま「グラインツ」を挽ききる。白い粉が出なくなるまで、何回か挽いてください。

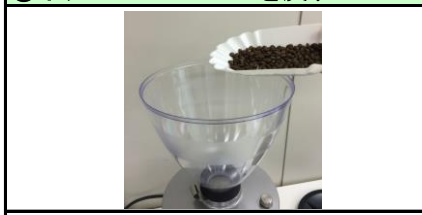
⑥ホッパーを清掃する



白ダスターとアルコールでホッパーを拭きあげる。

グラインツの粉がホッパーに付着するので必ずふき取ること。

⑦ホッパーにビーンズを戻す



綺麗に拭き上げたホッパーを本体に戻しビーンズを戻す。

⑧2~3回、ビーンズを挽く




電源を入れ、メッシュを元のダイヤルに戻し**2回~3回ビーンズを挽いてください。**


エスプレッソ粉と同時に、中に残っていたグラインツが吐き出されます。

※クリーニング後について

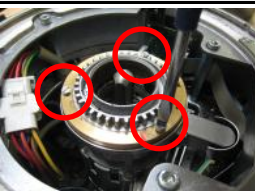


クリーニング直後は、グラインツの白い粉が若干出てくる場合がありますが、グラインツは完全天然素材でできておりまた、アレルギーは含まれていませんので万が一残っていても人体の影響はありません。また、味への影響もありません。

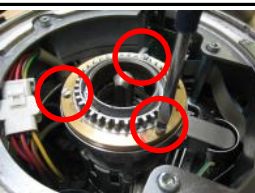


 <p>エスプレッソミル (ディッティング KE-640)</p>	作業内容	清掃・分解清掃	カテゴリ	メンテナンス(SV/DMG指導)
	作業目的	グラインツ清掃を行っても改善しない場合の 分解清掃手順です。 通常は行いません。	備考	


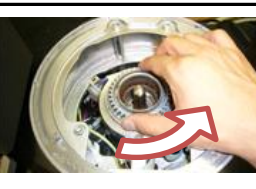
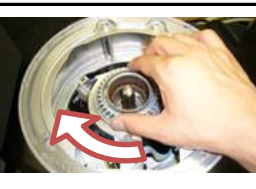

必要資材	ドライバー	ダスター	ダスター	軍手	ハケ	歯ブラシ		
								
	W91542	Z00975	Z00974	-	-	-		
	新ツールセット(HTS-23)	ダスター(白)80枚入	ダスター(ピンク)80枚入	各自購入	各自購入	各自購入		

ホッパーを外す	 <p>スライド シャッターを閉める</p>	 <p>ビーンズを挽き切る</p>	 <p>根本を持って 根本部分をしっかりと持ち 右側に回し、ゆっくりと持ち上げる。</p>	 <p>ビーンホッパーに残っている ビーンズは、ピッチャー等に 移し変える</p>
---------	---	--	---	--

カバーを外す	 <p>ネジをマイナスドライバーで 外す。</p>	 <p>調整ダイヤルを一番右に 回す。</p>	 <p>本体とカバーの間にマイナス ドライバーを入れゆっくりと カバーと本体を離す。</p>	 <p>カバー部をゆっくりと持ち 上げる</p>
--------	---	---	---	--

ディスクを外す	 <p>3箇所のネジをマイナス ドライバーで外す。</p>	 <p>ディスクを取り外す。 ※ディスクを動かさない (回さない)ように注意。</p>	 <p>ディスク部を 回さないように ディスクを清掃する。</p>	<p>ディスクを取り外し後、 ディスクを回さない様に してください。(清掃時注意)</p> <p>回してしまうと0点が狂って しまうため、下記記載の 0点調整が必要になります。</p>
---------	--	--	---	--

0点の確認	 <p>ディスクを戻す</p>	 <p>赤いラインが この辺りで回らなくなる</p> <p>ディスクを時計回りに、 動かない場所まで回す。</p>	 <p>回しても回らなければ 0点OK</p> <p>丸い棒の部分を持ち 動かないか確認する。 動かなければ0点OK</p>	 <p>今度は動くことを 確認する</p> <p>ディスクを反時計回りに回し 右レッドマークに合わせて 終了。</p>
-------	--	--	--	--

旧型ディスクの場合	 <p>金のホルダーがない場合 旧型。</p>	 <p>●取り外し ホルダーがないので そのままディスクを 反時計回りに回し取り外す。</p>	 <p>●取り付け 時計回りに、動かなく なる場所まで回す。</p>	 <p>ディスクが動かなくなる場所まで 回した後、反時計回りに回し 右側のラインに合わせて 終了。</p>
-----------	--	--	--	--